

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

I 適切な管理運営の確保		
1 施設の設置目的、基本方針等 施設の設置目的及び管理の基本方針の達成に向けた取組がなされているか。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	・会津町方伝承館条例及び関係法令等に定められた設置目的を十分に理解し、本市の伝統産業の振興・発展を図るための事業運営と公の施設としての適正管理に努めた。 ・伝統工芸品の紹介の充実を図るため、1階フロアを適宜変更し、各伝統工芸品の紹介コーナーを設置した。また、展示コーナーとワークショップコーナー(赤べこ・起き上がり小法師の絵付け体験)を常設し、魅力ある施設づくりに取り組んだ。 ・指定管理者としての基本方針を会津町方伝承館おもてなし7か条として明文化してスタッフ会議で共有し、町方伝承館が公の施設であり市民の貴重な財産を管理しているという認識のもと、市民・観光客に親しまれる施設づくりを基本とした業務運営に努めた。 スタッフ会議・・・館内スタッフを対象に、週1回程度、情報共有や懸案事項について協議している。 ・地方自治法に定める公の施設として特定の個人や団体に便宜を図ることのないよう、広報誌やホームページ等で情報提供を行う等、平等かつ公平な施設利用に努めた。	・施設の設置目的の理解度 ・施設の設置目的の達成度 ・基本方針の明文化 ・基本方針の周知状況 ・平等利用の確保
最終評価	所見	
A	・施設の設置目的を十分に理解し、市民及び観光客等多くの利用者に対して伝統工芸の紹介や観光情報の提供に努めている。 ・基本方針の明文化に加え、スタッフ会議や日報で社員への情報共有を図り、意識の向上に努めている。 ・会津町方伝承館が公の施設であることの認識を持ち、広く情報提供を行い、平等利用の確保と公平な施設の運営に努めている。	

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

2 適切な管理の履行 開館時間、個人情報の管理、定期報告等は、仕様どおり遵守されているか。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	・ 条例の規定に基づき供用時間を遵守した。 利用時間 9：00～18：00 ・ 開館日や供用時間の変更の際には、事前に市に承認を得たほか、利用者には、ホームページをはじめ、SNS（Instagram・Facebook）を活用し、周知を図った。 ・ 施設管理上知り得た個人情報については、会津若松市個人情報保護法施行条例並びに個人情報保護のガイドラインに基づき適切な管理を行った。 ・ 指定管理者協定書に基づき四半期毎の報告を行っているほか、適宜、所管課との情報の共有に努めた。	・ 供用時間、開館日の遵守 ・ 供用時間等を変更した際の利用者への周知、市への承認 ・ 個人情報の適切な管理 ・ 適切な定期報告
最終評価	所見	
A	・ 条例の規定に基づいた供用時間を遵守しており、開館日の変更がある場合には市の承認を得ている。 ・ 個人情報の取扱いについては、市の条例及び個人情報保護のガイドラインを遵守し、適切に管理している。 ・ 指定管理者協定書に基づき、四半期ごとの定期報告を滞りなく適切に行っている。	

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

3 職員の状況 職員の勤務形態、人員体制は適切か、また、職員による利用者への接遇は良好か。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	・事業計画に沿って社員を配置し、役割分担しながら連携して業務に取り組んだ。 ・繁忙期、閑散期の利用者数を想定し、適正かつ柔軟なシフト配置を行った結果、人件費が抑制され超過勤務も無かった。 ・お客様をお迎えする上での行動指針を記した「会津町方伝承館おもてなし7か条」を館内に掲示し、一人ひとりが実践し、サービス向上に努めた。 ・日報による情報共有やOJT、各種スキルアップの研修を実施し、意識醸成に努めた。 ・会津木綿のユニフォームと名札の着用を義務付けることで、身だしなみの統一を図った。	・計画に沿った人員配置、役割分担 ・超過勤務の有無 ・職員の接遇、服装
最終評価	所見	
A	・事業計画に沿った人員配置が行われており、繁忙期や閑散期、イベントの実施に応じた勤務シフトによる勤務体制を取ることで、人件費の抑制と超過勤務の削減に努めている。 ・研修として工房の見学や体験を実施し、知識及びサービスの向上を図り、意識醸成と接遇向上に努めている。 ・社員全員が制服と名札を着用し、身だしなみの統一を図り、館内の雰囲気づくりに貢献している。	

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

Ⅱ 利用者サービスの維持向上			
1 利用状況			
利用の実績、施設の稼働率に向上が見られるか。あるいは減少した場合は合理的な理由があるか。			
自己評価	指定管理者コメント		評価の指標
A	【来館者数及び2階展示室利用者数】 令和5年度 来館者数 13,373 人 2階展示室利用 17 団体 利用日数 77 日／開館日数 311 日 利用率 24.8% 令和4年度 来館者数 11,593 人 2階展示室利用 20 団体 利用日数 88 日／開館日数 306 日 利用率 28.8% ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、館内の魅力向上に努めたことにより、令和4年度と比較して来館者数は1,780人増加したが、2階展示室の利用稼働率は4%減少した。 ・SNS（Instagram・Facebook）を活用した2階の各種催しや利用促進業務、自主事業を積極的にPRした。また、地元商店街との連携を図りながら利用促進に努めた。 ・利用促進事業の実施（年間3回、開催日数108日間）と、新規顧客の開拓など誘致活動や宣伝広報活動を積極的に行った結果、利用促進事業開催期間中の来館者は6,864人となった。		・利用者数 ・稼働率

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

最終評価		所見	
	A	・ 休館日を設けながらも、自主事業や利用促進事業の実施、情報発信などを行い、令和4年度と比較して、来館者数は増加した。 ・ 2階展示室の利用について、利用案内の掲示や過去の開催者に利用を促すなどの利用促進に努めたが、令和4年度に比べ利用率が4%減少した。 ・ SNS（Instagram・Facebook）を活用したPRに取り組み、また地元商店街と連携し、積極的にイベントへ参加するなど来館者数の増加につなげている。	

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

2 サービス内容の向上 利用者サービスの向上のための取組を行っているか。			
自己評価		指定管理者コメント	評価の指標
S		・ 2 階の催しものの情報を「会津町方伝承館の催しもの」として館内掲示し、伝統工芸品などの紹介コーナーも作り分かりやすく情報提供を行っている。 ・ まちなかの様々な観光情報を提供し、町方伝承館を中心としたまちなか観光へ繋がるような案内及び誘導に努めた。 ・ 来館者へのサービス向上のため、お客様をお迎えする上での行動指針を記した「会津町方伝承館おもてなし 7 か条」を施設内に掲示し、一人ひとりが実践に努め、来館者のニーズに合わせた情報提供や観光案内などの対応に努めた。 ・ 教育旅行体験学習の受入れとして、赤べこや起き上がり小法師の絵付け体験、校外学習での施設説明や伝統工芸品の紹介を行った。また、「まちの駅」の視察を受け入れ、施設案内や取組を紹介するなど、利便性向上に努めた。 ・ 電話対応の際に必ず自ら名前を名乗り、責任ある対応を行うことを徹底したほか、来館された方が車椅子利用者であるなど身体的なハンディキャップがある場合は、進んでお声がけするなどの対応に努めた。 ・ 会津地域の伝統産業の PR を図るため、利用促進事業を含め、伝統工芸品中心の作品展示や季節に応じたテーマ別の展示を 184 日間実施し、魅力向上に努めた。 ・ 「会津まちの駅ネットワーク」のキーステーションとして、会津地域 39 か所の「まちの駅」と連携し、情報共有を行い、まちの駅の機能である、案内人によるおもてなし、駐車場・トイレの提供、情報コーナーを設置しサービス向上に努めた。 ・ 2 階展示室の長机と椅子をリニューアルし、利用者が気持ちよく利用していただけるよう努めた。	・ 受付窓口（掲示板等）の状況 ・ 利便性向上の取組 ・ 見学への対応 ・ 電話対応 ・ 提案内容の履行の状況 ・ 利用者サービス向上のための柔軟な供用の実施

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

	最終評価	所見	
	S	・ 2階展示室の催事情報やギャラリースペースの利用案内を受付に掲示し、周知及び利用促進を努めた。 ・ 「会津まちの駅ネットワーク」のキーステーションとしての機能を生かし、来館者にパンフレットを活用し、まちなかの様々な観光情報を提供し、町方伝承館を中心としたまちなか観光へ繋がるような案内及び誘導に努めた。 ・ まちの駅の機能を生かし、トイレや休憩場所の提供及び来館者のニーズに合わせた情報提供や観光案内により、まちなか観光の推進と来館者へのサービス向上に努めている。 ・ 教育旅行体験学習や「まちの駅」の視察を受け入れ、施設案内や取組を紹介するなど、会津地域の伝統産業のPRを図っている。 ・ 来館者の状況に応じ、声かけや介助を行うことで誰もが利用しやすい施設づくりとするなど、柔軟に対応している。 ・ 2階展示室の長机と椅子を新たに交換するなど来館者が快適に使用できる環境を整えている。	

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

	3 利用者からの意見抽出、苦情等の処理 利用者が意見を述べやすい環境を整備しているか、また速やかに対応できる体制を整備しているか。		
	自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
	A	・施設内にアンケートボックスを設置しているほか、ホームページ上においても「お問い合わせ窓口」を設置し、お客様の声の抽出に努めた。 ・要望やクレームの対応手順等について、マニュアル化している。また、苦情処理簿を作成し、日報やスタッフ会議において速やかに確認・共有することにより、その改善に努めた。 ・苦情やクレーム等の内容によっては、所管課に報告するほか、その対応方法においても協議を行うことを基本としているが、特に大きな苦情等はなかった。	・意見受付窓口等の設置 ・意見、苦情等の記録 ・苦情等への対応状況

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

	最終評価	所見	
	A	・ アンケート箱の設置やホームページのお問い合わせフォームを通じてお客様からの意見を抽出している。 ・ 要望やクレーム等の対応手順をマニュアル化している。クレームや苦情があった場合には、苦情処理簿を作成し、スタッフ間で確認・共有することで改善できる体制を構築している。 ・ 令和5年度においても大きな苦情はなく、良好な運営を行っている。	

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

4 広報、PR活動			
積極的な広報、PR活動を行っているか。また、その内容は適切か。			
自己評価		指定管理者コメント	評価の指標
S		・会津町方伝承館のパンフレットを既存の施設に加え、まちの駅ネットワークを中心とした施設へ配布することにより広報PR活動に努めた。 ・県内外のイベントへ参加し、絵付け体験の実施とともに、町方伝承館のパンフレットを配布することで町方伝承館のPRを行い、認知度を高めた。 ○「どうしても福島が好きだ AKB48 と福島を感じる 2 日間」赤べこ絵付け体験(8/13.14) ○「秋をめぐれば福きたる「会津・浜通り観光フェア」」起き上がり小法師絵付け体験(11/11.12) ○台湾交流協会文化交流「台湾の子供たちとオンライン赤べこ絵付け体験」(9/16) ○会津大学交流事業「コミュニティスペースきやれ」プレオープニングイベント会津木綿ワークショップ(12/14) ・福島県主催のタイ・バンコク商談会、台湾・台北商談会に参加。会津町方伝承館のタイ語・繁体字のパンフレットを作成し、現地旅行会社との商談・情報発信を通してインバウンド誘客促進に努めた。 ・ホームページをはじめ SNS(Instagram・Facebook)を活用し、施設全体のPRや自主事業、2階展示室の催事情報の発信を通して、利用促進に努めた。 ・マスコミへの情報提供を月1回行い、各種取材に全面的に協力するなど施設PRに努めた。 ・市政だよりによる定期的な催事情報の発信を行った。	・広報誌、PR誌等の作成 ・チラシ等の作成 ・ホームページによるPR ・情報提供のパンフレット

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

	最終評価	所見	
	S	・会津町方伝承館のパンフレットを既存の施設に加え、まちの駅ネットワークを中心とした施設へも配布し、広報活動に努めている。 ・イベントのPR用チラシの作成及び配布や、ホームページをはじめSNS(Instagram・Facebook)でPRを行い、施設の利用促進に努めている。 ・県内外のイベントへ積極的に参加し、認知度を高めているほか、外国語のパンフレットを作成し、海外の現地旅行会社への情報発信を行うなどインバウンドの誘客促進にも努めた。 ・マスコミへの情報提供や市政だよりでの定期的な催事情報の発信により、周知を図っている。	

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

5 自主事業の実施状況			
計画した事業が適切に実施されているか。また、内容は効果的なものであったか。			
自己評価		指定管理者コメント	評価の指標
A		・事業計画に掲げた各種事業については、概ね計画通り実施した。 ・自主事業で会津町方伝承館の PR も兼ねて絵付け体験イベントや会津木綿ワークショップを開催するなど伝統工芸品への理解を深めてもらった。 ・アンケートやホームページにおける問合せや意見などを全社員で共有し、自主事業でワークショップを開催するなど事業に反映させた。 ・様々な自主事業を実施することにより来場者の増加を図ったが、より一層の利用率向上を目指し、インバウンドへも対応するなど、ポストコロナにおける自主事業の実施に取り組んでいく。	・計画事業の実施の有無 ・事業の効果 ・ニーズの把握、反映 ・事業の改善の取組
最終評価		所見	
A		・事業計画に掲げた各種事業については、概ね計画通り実施した。 ・各種事業の実施に合わせて、宣伝広報活動を積極的に行い、令和5年度の来館者数は令和4年度に比べ、1,780人増加した。 ・アンケートやホームページからの問合せや意見を把握し、事業に反映させている。外国語パンフレット等を作成し、インバウンドへ対応するなど、利用率の向上に意欲的である。	

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

Ⅲ 維持管理			
1 施設、備品等の適切な維持管理			
施設、備品等が適切に管理され、良好な状態に保たれているか。			
自己評価	指定管理者コメント		評価の指標
S	・関係法令の定めに従い、消防設備や警備機器等設備、電気設備の定期点検を専門業者へ依頼し実施した。 ・施設の損傷等については、定期点検の実施により早期発見、修繕に努めた。 ・展示備品については、一部経年劣化が見られるものの台帳を基に適正に管理している。 ・社員による点検や専門業者による各種点検により、トイレ洗面自動水栓蛇口の故障による部品取替、屋外入口段差注意喚起ライン塗装の塗直しなど、修繕等が必要と認められた設備及び備品については、迅速に修繕補修等を行った。 ・2階展示室の長机と椅子はこれまで商工課備品を利用していたが新たに購入し、利用者が気持ちよく利用していただけるよう努めた。		・施設の保守点検の実施の有無 ・施設の損傷の有無 ・備品台帳の整備状況 ・備品の損傷の有無 ・施設、備品の修繕の実施状況
最終評価	所見		
A	・関係法令の定めに従い、施設の保守点検を適切に実施しており、損傷等についても修繕に努めている。 ・社員や専門業者による点検を行い、概ね適切に管理され、また修繕が必要な箇所は修繕補修を行っている。 ・2階展示室の備品を新たに入れ替えるなど来館者の利便性向上に努めている。		

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

2 清掃業務 清掃が適切に行われ、利用者が快適に利用できる環境が維持されているか。			
自己評価		指定管理者コメント	評価の指標
A		・施設内の清掃を日々行うとともに、必要に応じて社員や清掃業者による特別清掃を実施し、利用者が快適に利用できるよう努めた。 ・トイレなどの各消耗品については、毎日の清掃の際に社員が点検と補充を行った。	・清掃業務の実施状況 ・消耗品の補充 ・除草等の状況 ・庭園等の整備状況
最終評価		所見	
A		・仕様書に沿った日常清掃や定期清掃を実施しており、衛生環境や美観の維持を心がけ、快適な空間を保つことに努めている。 ・消耗品は毎日の清掃の際に社員が点検や補充を行い、適切に管理している。	

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

3 施設の安全性の確保 利用者にとって安心、安全な環境が維持されているか。また、事故、災害発生時の危機管理体制は適切に構築されているか。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	・営業時間内は社員が定期巡回を行い、営業時間外については、機械警備により 24 時間の警備体制を取っている。 ・各種設備等の鍵は、事務所に一元管理するとともに、施設の施錠は、予め決められた社員のみが行っている。 ・事故、災害等の非常時に備え、緊急対応マニュアルや社内緊急連絡網を整備し、全社員に周知徹底を図り、スタッフ会議等で確認を行っている。 ・事故等による怪我人や病人が発生した場合に備え、常備医薬品等により応急処置を行える体制を整えている。 ・OJT により、社員の危機管理に対する意識の向上と施設の安全管理に努めた。	・警備体制の整備 ・巡回等の実施状況 ・鍵の保管状況 ・施錠の体制 ・非常時対応マニュアルの整備 ・非常時連絡体制の整備、周知 ・利用者への注意喚起 ・研修、訓練の実施状況
最終評価	所見	
A	・仕様書に沿った機械警備による警備体制を取っており、社員による巡回や施設内点検も適切に実施されている。 ・鍵は事務所に一元管理し、予め決められた社員のみが責任を持って施錠をしている。 ・緊急対応マニュアルや社内緊急連絡網を整備し、非常時にも迅速に対応できる環境を整備している。 ・AED の設置や事故等による怪我人や病人が発生した場合の体制を整備し、施設内の安全管理に努めている。	

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

IV 収支の状況		
1 財務状況		
管理運営にあたり、適切な経理を行っているか。また、財務状況に問題は無いかな。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	・常勤理事のチェックのもと、弊社財務規程に基づいて経理担当者を設置し、経理書類を適正に整備している。 ・各種伝票については、定められた保管年数により適正に管理を行っているほか、関連書類についても指定管理者協定書第 24 条の定めに基づき保管している。 ・通帳、印鑑については、鍵付き金庫により保管をしており、鍵は定期的に保管場所を見直しながら管理している。 ・支出に関しては社員、経理担当者、常勤理事による複数のチェック体制としているほか、毎月会計事務所の指導を受けており、不明瞭な支出は無かった。 ・当初の計画に沿って事業を実施することにより、予算と決算の大きな乖離は無かったほか、各種経費の削減に努め、収支バランスを維持した。 ・顧問税理士の指導のもと、法人としての健全経営と基盤強化に向けた取組を行っており、決算においては、税理士の指導のもと監事の監査を受け、理事会による承認を得ている。	・経理書類等の整備状況 ・経理担当の設置の有無 ・伝票の保管状況 ・通帳、印鑑の保管状況 ・不明瞭な支出の有無 ・予算、決算の乖離 ・外部監査の実施 ・収支のバランス
最終評価	所見	
A	・会計処理については、経理担当者を配置し、経理書類、各種伝票、関係書類、通帳、印鑑等の適切な管理を行っている。 ・支出に関しては複数によるチェック体制を取っているほか、毎月会計事務所の指導を受けている。 ・顧問税理士の指導のもと、法人としての健全経営と基盤強化に取り組んでいる。	

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

2 利用料金の収入実績 収入の実績は伸びがみられるか。また、収入確保の方策は適切か。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	【2階展示室利用料収入等】 令和5年度 222,550 円 （対前年度比 91%） 令和4年度 243,600 円 ・空き状況並びに展示室での催事情報は随時 SNS（Instagram・Facebook）やホームページなどを活用して PR を行い、利用促進に努めた。	・収入実績 ・収入の伸び率 ・収入確保に向けた取組
最終評価	所見	
A	・2階展示室利用料について、過去の主催者への声かけや SNS（Instagram・Facebook）やホームページなどを活用し情報発信を行い、利用促進に努めたが、利用料収入は令和4年度と比べ減少した。	
3 経費の節減 適切な経費の節減に向けた取組が行われたか。また、効果が現れているか。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
S	・勤務ローテーションにおいて、繁忙期・閑散期に応じたシフトを組むことにより、適正な人員配置を行い、人件費の抑制に努めた。 ・融雪屋根の稼働契約期間にも降雪が少なかったので電源を入れずに電力量の削減に努めた。 ・8月28日より1階フロア・事務室、2階フロアの蛍光灯をレンタル LED に交換し電力使用量削減に努めた。 【電力使用量】 令和5年度 25,125kwh （対前年度比 76%） 令和4年度 32,746KWh	・取組の有無 ・取組の効果
最終評価	所見	
S	・フロアや事務室の照明器具の LED への交換や、不必要な設備の稼働抑制など、電力量の削減に取り組んだ。 ・令和4年度に比べ、電気の使用量が削減された。	

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

V その他		
1 市、関係機関及び地域との連携等 市、関係機関、地域との連携体制が適切に構築されているか。また、その他前記までの評価に合致しなかった取組について評価を行う。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	・市や関係団体との連携や会合等には積極的に参加し、情報の共有や地域との連携に努めた。 ・大町通り活性化協議会や会津短大、アネッサクラブなど地元との連携を図り、大町周辺で開催される各種イベントに積極的に参加し、家族連れや若者に立ち寄ってもらうことができた。（大町マルシェ、絵ろうそくまつり等） ・極上の会津プロジェクト協議会をはじめ、会津まちの駅ネットワーク、各観光関連団体との情報共有にも参画した。	・その他 ・特記事項
最終評価	所見	
A	・所管課や関係団体との情報共有や地域との連携に努めている。 ・大町通り活性化協議会や会津短大、アネッサクラブなどの地域団体による各種イベントに積極的に参加し、会津町方伝承館のPRに努めている。 ・極上の会津プロジェクト協議会をはじめとした、各観光関連団体との情報共有にも参画している。	

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

VI 総合評価		
1 総合評価 指定管理者として適切な管理運営を行っており、利用者サービスの向上や効率化が十分に図られているか。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	・会津町方伝承館条例及び関係法令等に定められた設置目的を十分に理解し、本市の伝統産業の振興・発展を図るための事業運営と公の施設としての適正管理に努めた。 ・2階展示室利用料収入については令和4年度と比較して91%と減少したが、来館者は令和4年度と比較して1,780人増加した。 ・まちなかの様々な観光情報の提供に努め、町方伝承館を中心としたまちなか観光へつながるような案内及び誘導に努めた。また、まちの駅の機能である案内人によるおもてなし、駐車場、トイレの提供、情報コーナーを設置し、来館者のニーズに合わせた情報提供や観光案内などの対応に努めた。 ・「会津まちの駅ネットワーク」のキーステーションとして、会津地域39か所の「まちの駅」と連携した広報PR活動や情報共有を行った。 また、ホームページをはじめSNS(Instagram・Facebook)を活用し、季節ごとのテーマ展示なども含めた施設全体のPRや施設の設置目的である伝統産業の振興を図るための利用促進事業や自主事業、2階展示室の催事情報の発信等を通して利用促進に努めた。 ・各種経費の削減に努め、会津町方伝承館の管理事業において収支バランスを維持することができた。	

指定管理者評価シート

R 5（会津町方伝承館）

	最終評価	所見	
	A	・会津町方伝承館の設置目的を理解し、伝統工芸品の紹介の充実を図るため、展示コーナーやワークショップコーナーを常設し、市民と市を訪れる人への伝統産業の理解促進や伝統工芸品の普及促進に努めるなど、全般にわたり概ね円滑な管理運営を行っている。 ・「会津まちの駅ネットワーク」のキーステーションとして、まちの駅の機能を生かし、来館者のニーズに合わせたサービスの向上に努めた。 ・外部イベントへの積極的な参加や、自主事業や利用促進事業の実施、さらには SNS などの広報 PR 活動により、伝統産業の振興を図り、来館者は令和 4 年度と比較して 1,780 人増加した。 ・2 階展示室利用料収入については令和 4 年度と比較して 91%に減少した。一方で自主事業の売上は増加し、節電の取組などの経費の削減に努め、収支バランスを維持した。	

総合評価の算定方法

① I から V までの各項目の最終評価を、次の基準により点数化します。

S ランク = 4 点 A ランク = 2 点 B ランク = 0 点 C ランク = - 2 点

例 (X 財団) S が 4 項目、A が 10 項目、B が 1 項目、C が 0 項目の場合、得点は 36 点

 (Y 社) S が 1 項目、A が 7 項目、B が 3 項目、C が 4 項目の場合、得点は 10 点

② 次に平均点を算出します。

例 (X 財団) 得点 36 点 / 評価項目 15 項目 = 平均 2.4 点

 (Y 社) 得点 10 点 / 評価項目 15 項目 = 平均 0.67 点

③ ②の平均点に応じ、次の区分により総合評価のランク付けを行います。

S ランク 平均点 $\geq$ 3 点（ただし、C ランクが 1 項目でもある場合は A ランクとする。）

A ランク 3 点 $>$ 平均点 $\geq$ 1.3 点

B ランク 1.3 点 $>$ 平均点 $\geq$ 0 点

C ランク 0 点 $>$ 平均点

例 (X 財団) 総合評価 A ランク

 (Y 社) 総合評価 B ランク